

知事記者会見

医療のひっ迫状況について

～県民の皆様へのお願い～

令和5年1月17日

本県の医療の現状

- コロナ感染による入院については、地域住民を守るため、新たに発生したコロナ患者が入院できる病床を確保している（確保病床:最大681床）

※確保病床の使用率は現在56.4%と、第7波時のピーク(63.8%)に近づきつつある

- コロナ以外の疾患で既に入院している患者のコロナ感染等により、**確保病床以外の一般病床にも数多く入院しており、医療従事者の負荷が増大**

	病床使用率	コロナ入院患者			合計
		コロナ受入医療機関		コロナ受入 医療機関以外	
		確保病床	確保病床以外		
第7波ピーク	63.8%	450人	173人	370人	993人
現在(1/16)	56.4%	384人	285人	590人	1,259人

計画に基づき病床を確保

地域コロナ患者のためにあらかじめ病床を確保

計画外(一般病床等)

他疾患入院中の患者のコロナ感染の場合 など

本県の医療は病床使用率以上に厳しい状況にある

一般医療の制限状況

コロナ患者の急増に加え、医療従事者の感染も増加していることから、コロナ病床がひっ迫し、コロナ以外の一般医療にも影響が出ています

医療従事者の休業

- 主なコロナ受入医療機関(44施設^(※))の9割以上で、コロナ感染による医療従事者の休業が発生している

医療従事者の休業状況(44施設)



入院中の患者のコロナ感染

- 主なコロナ受入医療機関(44施設^(※))の約6割で、他疾患で入院中の患者のコロナ感染が発生している

他疾患で入院中患者の
コロナ療養者数(44施設)

25施設 / 44施設
(228人 / 513人)

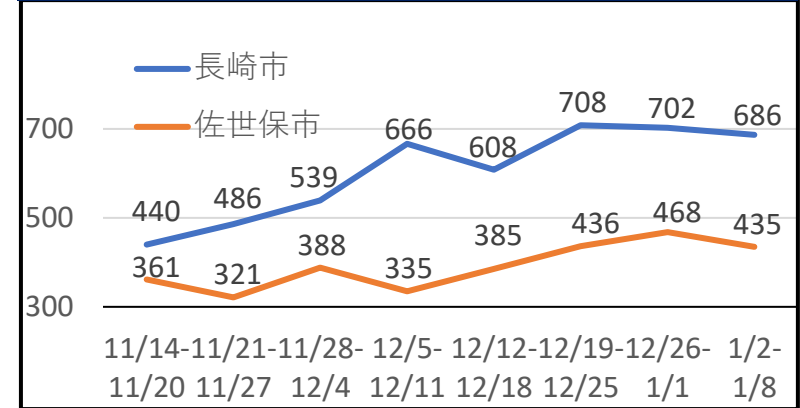
※コロナ受入医療機関(84施設)のうち、主なコロナ受入医療機関

一般医療の制限状況

救急搬送

- コロナ感染者の急増もあり、**救急搬送件数**(長崎、佐世保)も**増加傾向**
- 緊急度の低い患者の利用も一定数あり、**緊急度の高い患者の搬送に影響**が出ている

1週間の救急搬送件数



救急搬送対応状況

- 入院患者の急増に加え、インフルエンザの流行等による救急搬送者や休業する職員の増加など様々な要因が重なり、**救急外来はひっ迫**
- 救急医療を制限する医療機関の増加に伴い、特に**地域の基幹病院に救急患者が集中**

長崎市における救急搬送困難件数

12月第1週(12/5~11)	21件
1月第1週(1/2~8)	62件 (約3.0倍)

佐世保市における救急搬送困難件数

12月第1週(12/5~11)	11件
1月第1週(1/2~8)	25件 (約2.3倍)

※ 救急搬送困難: 医療機関への受入照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上

医療機関の状況(現場の声)

職員の感染や濃厚接触による休業者も増えている厳しい状況の中
コロナ禍での診療に対し、心から感謝申し上げます

- コロナによる入院患者の増加、医療スタッフの感染により、体制維持が難しくなっており、現場は非常に厳しい状況にある
- 入院患者の感染も増えているが、感染力が強く、どんなに感染対策をとっても、院内での感染を完全に抑えることはできない
- 救急搬送受け入れや入院の制限、病状に応じた退院促進の厳格化など、患者への影響は避けられない
- スタッフは疲労が限界にある中で懸命に努力しているが、患者やご家族からご理解いただけない場合があり、精神的にも厳しい状況にある

入院患者の増加や医療スタッフの休業・離職等により医療の負荷が増大



入院患者の増加
(コロナ・一般病床)

スタッフのコロナによる休業



使用できる病床の減少



<現場の対応>
厳しい状況
(救急・外来・入院)

患者(家族)
の**不満**



医療提供体制の
低下

スタッフの**疲弊**

スタッフの**離職**

コロナの3年に
及ぶ**長期化**

県民の皆様には、現在、医療が置かれている現状についてご理解をお願いします

『医療ひっ迫警報』発令 (R5.1.17~)

⚠️ 救急外来がひっ迫しています!!

- 発熱や咳などの症状による救急外来受診や歩行可能な方の救急車利用によって、救急外来がひっ迫しています
- 症状が重い方など、真に診療が必要な方のために、救急外来を守りましょう

県民の皆様へのお願い

- 重い症状(※)以外の方は、できる限り平日の診療時間内に受診ください
※「水が飲めない」「呼吸が苦しい」「ぐったりして動けない」「顔色が悪い」 など
- 発熱に備え、「**コロナ抗原検査キット**」と「**鎮痛解熱薬**」を事前に準備いただき、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、症状が重い方以外は、症状をよく見たうえで、**ご自身での検査、自宅療養等の対応**にご協力ください

❗ コロナ・一般とも **入院病床** が **ひっ迫** しています!!

- コロナ患者の急増に加え、コロナ感染により休業する医療従事者が増加していることから、病床使用率以上に医療がひっ迫し、医療提供体制に支障が出てきています

県民の皆様へのお願い

- 新たな入院患者を受け入れるため、病状によっては**早期の退院**をお願いすることがありますので、**ご理解願います**
※「入院者／コロナ療養者」： 長崎県7.2% 九州(本県除く)5.0%
- 医療資源に限りがある中で、**医療従事者は患者を守るために力を尽くしています**。皆様のご理解とご配慮をお願いします

本県の医療を守るため **今が正念場**です

県民の皆様 お一人おひとりのご理解とご協力をお願いします

基本的な感染対策等の徹底について

新型コロナに加え、インフルエンザについても急激に感染者が増加しています。今後も、同時流行が進むことが懸念されますので、以下の対策の徹底にご協力をお願いします。

流行の指標となる
インフルエンザの感染者数
(定点医療機関当たりの報告数)

R4.12月 (第4週)	R5.1月 (第1週)
1.11	7.11

年末→年始で
約7倍に

■ 感染や重症化を防ぐため、新型コロナワクチンやインフルエンザワクチンの早期接種をご検討ください



■ 会話時のマスク着用や三密回避換気など感染防止対策の徹底を

■ 会食の際は、認証店を利用しマスク会食や密にならない工夫を

■ 発熱などの症状があるときは外出を控え、自主検査や医療機関への相談・受診を

■ 高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は、家庭内でも特に感染対策に注意を